

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期安芸高田市の未来につなげるプロジェクト

2 地域再生計画の作成主体の名称

広島県安芸高田市

3 地域再生計画の区域

広島県安芸高田市の全域

4 地域再生計画の目標

安芸高田市は、広島県の中北部に位置する人口 26,448 人(令和2年国勢調査)の市である。市の中央部を江の川が貫流し、周辺に盆地が形成され、その周りを丘陵が囲む、水と山々や田園の緑とが調和した、細やかで落ち着いた景観を形成している。

安芸高田市では、1975年以降人口減少が続き、特に2010年までの35年間で生産年齢人口は約3割減少した。年齢3区分別の年少人口は約5割減少、それに対し、老年人口は9割近く増加しており、少子高齢化の進行が顕著である。

自然動態については、1980年から2005年にかけて自然減少が大きく拡大し、近年は、年間400人以上の減少が続いている。社会動態については、1980年以降、社会減で推移しており、2019年に社会増に転じたものの、再び2020年から社会減が続いている。

また、これまで増加傾向であった65歳以上の高齢者数は、2020年に初めて減少に転じ、人口減少は一層進行するものと考えられる。

人口減少の原因としては、近年の出生率の低迷や15～19歳の若者の転出超過とその後のU・Iターンの少なさが挙げられる。

出生率については、2017年に1.68まで改善してきたが、2021年度には1.33に落ち込み、低迷している。

若者の転出超過については、20～24歳、25～30歳でU・Iターンの動きが見られるが、15～19歳の転出超過を埋めるまでには至っていない。

このまま人口減少が進行すると、税収の減少、公共施設の維持管理費用の負担増、学年ごとの学級の維持困難、拠点病院の存続や小売事業所数の減少などの課題が生じる恐れがある。

上記の課題に対応するため、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目指す将来像“子どもたちの未来の生活・居場所を守る”の実現のため、出生率の増加等の取組を一層進め、自然減に歯止めをかける。また、地域ぐるみで若者や移住者を応援し、地域との関わりをつくる取組等を通じて、U・I・Jターンの増加を図り、転入促進・転出抑制を強化するとともに、関係人口の拡大を図る。また人口減少下でも、安芸高田市が誇る地域資源を活用するなどし、まちの賑わいを生み出す取組も進めていく必要がある。こうした取組は行政のみならず、市民、地域振興組織、企業等様々な主体が役割を担い、相互に連携・協力し、相互理解と合意形成を図りながら推進していくことで持続可能で多様性のある地域社会の実現につなげる。

- ・基本目標1 若者に選ばれるまちづくり
- ・基本目標2 第2のふるさとづくり
- ・基本目標3 帰ってきたくなる学びのまちづくり
- ・基本目標4 自助・互助・共助・公助のまちづくり

【数値目標】

5-2の ①に掲げる事業	KPI	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2028年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	転入者数	2,985人/3年	3,159人/3年以上	基本目標1
ア	0-4歳の人口	516人	現況値以上	基本目標1
ア	20-44歳女性人口	2,495人	現況値以上	基本目標1
ア	合計特殊出生率	1.21	1.24以上	基本目標1

ア	子ども女性比	0.23	0.24以上	基本目標1
ア	安芸高田市へ移住に関心がある市外からの通勤者の割合	14.1%	30.0%以上	基本目標1
ア	安芸高田市を住みやすいと思う外国人の割合	75.8%	現況値以上	基本目標1
イ	観光客	226万人	250万人以上	基本目標2
イ	「安芸高田市観光ナビ」HPへのアクセス数	1,518,533件	2,050,000件以上	基本目標2
イ	個人版ふるさと納税寄附件数	6,508件	10,000件以上	基本目標2
イ	企業版ふるさと納税寄附企業件数	4件	15件以上	基本目標2
ウ	地域への愛着	50.4%	現況値以上	基本目標3
エ	転出者数	3,133人/3年	2,929人/3年	基本目標4

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第2期安芸高田市の未来につなげるプロジェクト

ア 若者に選ばれるまちづくり事業

イ 第2のふるさとづくり事業

ウ 帰ってきたくなる学びのまちづくり事業

エ 自助・互助・共助・公助のまちづくり事業

② 事業の内容

ア 若者に選ばれるまちづくり事業

「子育てするなら安芸高田市」「働くなら安芸高田市」と市内外の人々が実感できるよう、結婚・子育て・教育・仕事の各ライフステージに寄り

添った切れ目のない支援を通じて、若者や子育て世代に選ばれるまちづくりを推進するために、以下に取り組む。

【具体的な事業】

- (ア) チャレンジショップを立ち上げ、飲食店等を誘致する
- (イ) サテライトオフィスを誘致する
- (ウ) 公共施設マネジメントを推進する
- (エ) 大型商業施設を誘致する
- (オ) 宿泊施設を誘致する 等

イ 第2のふるさとづくり事業

「10,000人が1回訪れるまち」ではなく、「100人が100回訪れたくなるまち」を目指し、地域との継続的な関わりを産む観光・文化・交流の環境づくりを推進するために、以下に取り組む。

【具体的な事業】

- (ア) 関係人口案内所の基本構想・基本計画を策定する
- (イ) PPP・PFIスキームを活用した関係人口案内所を運営する
- (ウ) 関係人口コーディネーターを育成する
- (エ) 空き家等を活用し、子育て世帯のお試し暮らしを支援する 等

ウ 帰ってきたくなる学びのまちづくり事業

進学や就職で一度市外に出ても、「また帰りたい」と思えるよう、学びや地域とのつながりを通じて、郷土への愛着と誇りを育むまちづくりを推進するために、以下に取り組む。

【具体的な事業】

- (ア) 中学校統合計画を推進する
- (イ) 未来チャレンジ探求学習の充実
- (ウ) 小学校・中学校及び中学校・高校の連携を強化する
- (エ) 地域学校協働活動コーディネーターを育成する
- (オ) 高校の魅力化事業を推進する 等

エ 自助・互助・共助・公助のまちづくり事業

多世代が支え合いながら安心して暮らせる地域づくりを目指し、自助・互助・共助・公助がバランスよく機能する仕組みを推進するために、以下に取り組む。

【具体的な事業】

- (ア) 多世代型参加型のワークショップによる地域振興組織のあり方を検討する
- (イ) 地域振興組織に係る指針を作成する
- (ウ) 各町に集落支援員を配置する
- (エ) 地域振興組織の広報活動を強化する 等

※ なお、詳細は第3次安芸高田市まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

3,660,000千円（2026年度～2028年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度7月頃に安芸高田市総合計画審議会による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに安芸高田市公式WEBサイトで公表する。

⑥ 事業実施期間

2026年4月1日から2029年3月31日まで

6 計画期間

2026年4月1日から2029年3月31日まで